

令和5年度第5回日野市指定管理者候補者選定委員会 議事録

1 概要

日 時	令和5年8月17日(木) 13時15分から19時10分まで
場 所	日野市役所本庁舎 4階 庁議室
出 席	(市民委員) 比留間委員長、増永委員、小林委員、亀山委員 (行政委員) 赤久保委員、竹村委員、設楽委員、青木委員、志村委員 (ふれあいホール等応募事業者) シンコースポーツ・アズビル共同事業体 (市民会館等応募事業者) 株式会社ケイミックスパブリックビジネス、B社 (落川交流センター応募事業者) 特定非営利活動法人おちかわの里
施設所管課	(文化スポーツ課) 木暮課長、室瀬係長、土方主任 (地域協働課) 西山課長、滝瀬主任
事 務 局	(企画経営課) 松井主幹、永尾
傍 聴 者	なし
議 事	(1) 日野市市民の森ふれあいホール及び日野市民プールの選定について <ul style="list-style-type: none"> ● シンコースポーツ・アズビル共同事業体 (2) 日野市民会館・七生公会堂・七生福祉センター・とよだ市民ギャラリーの選定について <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社ケイミックスパブリックビジネス ● B社 (3) 日野市立落川交流センターの選定について <ul style="list-style-type: none"> ● 特定非営利活動法人おちかわの里
記 録 作 成	(企画経営課) 永尾
配 布 資 料	応募書類一式、採点表等審査資料一式

2 要点録

(1) 事務連絡

○ 事務局

日程調整についての御礼。選定委員会の委員追加について補足説明。

(質問等なし)

(2) 日野市市民の森ふれあいホール及び日野市民プールの選定(所管:文化スポーツ課)

○ 施設所管課

施設の概要及び審査の際の重点項目などについて説明。

■ 委員

収支で、マイナスになっているところがある。なぜか、ということと、どのように処理されているか。

○ 施設所管課

例年マイナスがある。大きい会社なので、赤が出る施設も請け負ってれば黒の施設もあると思う。特に市から補填をしているということもない。

理由としては、コロナが影響していることが考えられる。令和2年度、3年度についてはコロナ減収に対する補填も一部していたところ、令和4年度はそうした補填は実施しなかった。

■ 委員

こんな赤字の数字を表すということが民間事業者としては納得いかないと思われる。数字の遊びがあるのでは、と思うが。

○ 施設所管課

事業者の確認を取ってこのようなかたちとなっている。本来であれば利益があってしかるべきと思うが、どこまで正直に株式会社が出すか、ということ配慮しなければならない。

■ 委員

今回はこれ以上言わないが、基本的にはおかしいと思う。

■ 委員

他の施設での例で言うと、自主事業の令和4年度の差額が500万円くらい。その部分のマイナスがあるのでは。

事業者の方も大変だと思うが、昨今の物価の上昇を受けて、補填しなければいけない部分がたくさんあると思う。可能であれば、希望して継続していくつものある事業者に対して、大変だったということと今後の展望についてお聞かせいただきたい。

昭和記念公園のプールの廃止という説明もあったが、確認して欲しい。

どんどん屋外プールがなくなっている中で、日野市としてサービスをどのように維持していきたいと思っているのか。

○ 施設所管課

昭和記念公園のプールの廃止は7月の新聞報道の情報。正確なところは確認していきたい。

屋外プールの老朽化が激しく、指定管理者にとっても修繕負担が過度になる。なかなか手を挙げてくれる事業者が出てくれないことが想定されたため、屋内施設とセットとすることとした。

将来の展望ということもこれから検証をしてやっていかなければならないが、令和4年度に第2次スポーツ推進計画を策定したため、これに則った運動をしていきたいと考えている。

週1回スポーツを実施する市民を70%とすることを目指す。高齢者はすでに達成している。20代～50代の方がしっかりスポーツをできる環境を整えていきたい。

■ 委員

赤字決算というのが気になっている。決算上、中を見ると、企業努力も見えるところ、人件費や光熱水費などにかかってしまっているというのが現状かなと見えた。スライド条項を設けるとか、検討していただかないと取り損になってしまうことにもなりかねない。会社としてはそれでは成り立たない。

今のプールとふれあいホールはJVなのか。

○ **施設所管課。**

ふれあいホールはJV。プールは単体事業者。

■ **委員**

赤字の負担割合は。

○ **施設所管課**

確認していない。

○ **事務局**

物価スライド条項については、日野市指定管理者制度の中で対応しないことになっている。その物価リスクのリスク負担としては事業者の方をお願いしている。

良し悪しあり、物価が下がる可能性がある場合には有利に働く。災害などの場合を除き、物価が上がったことをもって指定管理料の増額をするという考えにはない。

ご指摘の赤字も、ほぼ自主事業に由来するものである、ということ。本来的には自主事業は経費上切り分けて表現していただき、自主事業分のマイナスは指定管理業務から外して考えていただく、ということが本来の考え方。

自主事業は事業者が自主的に行うもので、それによる赤字も自主的なものと整理している。

■ **委員**

確かに、自主事業だけをピックアップし、その考え方で切り分けると、そうなることかな、と思う。

光熱水費については、これからも上がっていくし、プールは水もあり影響が大きいので何とかならないかとは思いますが。

■ **委員**

確かに、収益事業者として、赤字はやはり気になる。

■ **委員**

今の事業者として、対応に苦情などがあつたか。

○ **施設所管課**

個人利用と団体利用があるが、バスケットボールの半面利用をする個人利用がある。個人利用されていた方が、施設内に設置されているゴールをもう一つ出してほしいと窓口要望した。すると、窓口では10人以上の利用の場合ゴールを出す規則だからと断られた。そもそも個人開放なので、ゴール出せない、というところ。

市から問合せたところ、やはりルールとして出せない、ということだったが、最終的には出すことに

なった。柔軟に市民の利用に対応しなければならないところ、そうした事象が何件かあった。

■ 委員

南平体育館も指定管理に入れることを想定しているか。

○ 施設所管課

南平体育館は令和 7 年度から指定管理とすることを検討している。その方法については、他施設との一括化を含め検討していく。

■ 委員

一括で行うということは、競争させないのか。

○ 施設所管課

公募しての競争は行うが、メリットデメリットはある。

■ 委員

今回指定管理料が上がっていることが気になっている。

(3) プレゼンテーション及び質疑応答 (シンコースポーツ・アズビル共同事業体)

◇ シンコー・アズビル

提案内容について説明。

■ 委員

利用しているが、プールのシャワーの温度や向きの調整が利かないのが気になっている。また、混んできると、自動販売機が少なく待つことになってしまう。

プールの管理は夏だけだと思うが、夏以外はどのような管理をしているか。

◇ シンコー・アズビル

夏は管理者等を配置しているが、夏以外は別の施設で勤務している。会計上もそのような人員配置を前提とした計上となっている。

■ 委員

SNS 上で公式アカウントを開かれていると思う。IT を使った市民サービスの向上を目指してほしい。全体的に、今の事業者としていい印象。スケールメリットを使って効率的にやってほしい、というのが指定管理者制度の趣旨だが、指定管理料の参考価格が R5 では各施設 43.4 百万円、18.4 百万円とあるところ、提案額が●百万円、●百万円。●%上がっている。

利用人数も戻りそう、という流れの中で。利用料金は低め、管理料は逆に上がる、というところでメリットがないんじゃないか、という話になるのでは。

◇ シンコー・アズビル

利用料収入等の経緯について。利用料収入の実績としては、令和 4 年度実績から積算させていただいている。その段階では、コロナからの戻りが見えていなかったということはある。

来年度利用料金の改定が見込まれている。全国の運営の実績を確認すると、利用料金が上がると収入

が下がる、というデータがあり、利用料金については若干下がる、という積算になった。
経費の方については、5年前の状況から昨今における社会情勢の変化がある。昨年比だと大きな上昇と見えるが、人件費の適正な支払い、電気代やガソリン代などの経費が上がることを見込ませていただいている。それによると、上がってしまう。

■ 委員

納得できない。
料金が下がる、ということは初めて聞いた。

○ 施設所管課

一人頭の利用料金が上がることによって、全体の利用料収入が下がる、ということをおっしゃっていたんだと思う。

■ 委員

利用料金収入は増える見込みだったのでは。

○ 施設所管課

市外利用は元々あまりない。その為、あまり減らないとは思っている。

◇ シンコー・アズビル

過去のデータを参考に利用料金の積算をしているため、直感的なものではない。それによる収入計画となっている。

令和7年度については、立川市柴崎市民体育館が休館される分、本施設の利用の上昇を見込んでいる。

■ 委員

スポーツ推進計画の中に、基本方針が4つあり、その中に障害者スポーツの普及ということを上げている。そこに力を入れていきたいと考えているが、具体的な施策を何か考えておられるか。

◇ シンコー・アズビル

障害者スポーツの体制について。ふれあいホールで現状でもバドミントンや障害者向けの受入れイベントを行っている。施設都合の条件もあるとは思いますが、障害者の方がたくさん活動できるような施設運営を展開していきたい。健常の方も一緒に体験できるようなイベントを展開していきたい。

■ 委員

資料の15ページに市民の声を反映していく、という記述がある。採用されるものについては要望した方もすぐにわかるが、不採用の場合について、なぜできなかったのか、その理由などについてのフィードバックがあって、より良い施設運営になっていくのかなと思う。そうした目に見えにくい不採用に対するお考えがあったら教えていただきたい。

◇ シンコー・アズビル

16ページにあるとおり、掲示板をつくって、不採用の場合も含め、結果の掲示をしてご理解いただくよう進めていきたい。

■ 委員

シンコースポーツさんがアズビルさんを選んだ理由、アズビルさんがシンコースポーツさんを選んだ理由について教えていただきたい。

◇ シンコー・アズビル

(シンコー) 15年ほどやっている中で、10施設ほど共同して施設運営をさせていただいている。長い信頼関係がある。スポーツ運営のフィールドと維持管理のフィールドは違う。専門性を取り合ったタッグだと思う。

(アズビル) スポーツ施設の運営もさせていただいていることもあるが、設備が専門であり、シンコーさんのような気配りまではできないこともある。強みを生かした貢献をするため、シンコースポーツさんの力を借りてやっていく。

■ 委員

お互いの弱みを補い合うのがJVだと思っている。理解しました。

■ 委員

計画書19ページの維持管理について、監視システムはどのようなものか。

◇ シンコー・アズビル

各施設警報盤がある。(監視システムについて説明。事業者のセキュリティに関わる情報のため議事録略) 情報は近くで対応している担当に伝えられ、警報の内容をやり取りしながら現場に向かう流れである。

■ 委員

繁忙期のときもあり、施設のにぎわいも経験され、コロナ禍で加速度的に閉鎖的になって閉館・休館が続いたと思う。一番大変なところから少しずつ回復してきて、というところ。稼働率などを戻していこう、にぎわいを創出していこうと取組をされていくと思う。これからの展開の中でポイント、意欲といったところを一言でお願いしたい。

◇ シンコー・アズビル

一つは、コロナ前までの回復。二つ目にスポーツ計画に沿った活動。三つ目にアーバンスポーツへの積極的な取組、と挙げさせていただきたい。

■ 委員

これまで市との考えをすり合わせたり、共有していただいたり、というのをどのように進められてきたか。

◇ シンコー・アズビル

毎月担当課さんと運営会議をさせていただいている。施設の状況の報告、市からの状況の報告、地域の要望などを含めた情報交換をしながら、同じベクトルを向いて一緒に歩んできた。これからもそうした情報共有を進めていきたい。

■ 委員

防災のことを聞きたい。ふれあいホールについては浸水区域にある。先日の台風における体制はどのようにとられたか。

◇ シンコー・アズビル

東京に来る予報の段階では、緊急体制を取るよう指示があった。責任者として台風に備える体制を取った。責任者は土日関係なく、緊急対策委員長として出勤している体制となっている。直撃の予想から西の方にずれたので、こちらから市に連絡は特にしなかったが、市から連絡を頂いた。

■ 委員

安全水準の話として、他者にはないものでこんなものがある、ということがあれば一例を。

◇ シンコー・アズビル

市民プールについては、200以上の施設管理経験がある。スポーツ安全協会の安全指針の策定にも携わっている立場なので、プール運営についてトップクラスであるという認識、経験がある。現場にそうした知見をフィードバックしている。体育施設についても、日本体育施設協会の作業部会の一員となっている。有資格者としての立場から知見をスタッフの方と共有している。

■ 委員

受付として、体育施設で明るい施設が大事だと思う。雰囲気暗いなどの声を聞くこともあるが、接遇研修はどのような事をされているか。

◇ シンコー・アズビル

受付研修担当があり、各責任者、受付担当者が受講、各スタッフにフィードバックする形となっている。コロナ禍で飛沫防止のためのビニールカーテンをしていたので、声が通りにくかったところがある。飛沫防止のビニールを取ったときに、笑顔、発信をするようにということで少しは改善になっていると思われる。

■ 委員

運営会議を月1回されているとのことだが、緊急会議などは行ったことがあるか。

◇ シンコー・アズビル

会議体としては定例のもの以外はないが、緊急の時には必要に応じて打合せというかたちで行っていることはある。

■ 委員

実際に打合せなどをやったことは。

◇ シンコー・アズビル

台風19号の時に情報共有、避難者の対応などで行った。また、アーバンスポーツの話が出ている中で、打合せの場を設け、情報共有をした。

(4) 主管課質疑応答（文化スポーツ課）

■ 委員

南平体育館と一体化する、ということが先ほどあった。今のプレゼンを聞いていると、分けた方がいいのでは、という印象をもった。各施設の特徴が違くと、一体化によるサービスの低下を招く可能性もあると思うし、競った結果、お互いの施設の価値を上げる可能性も感じた。

市民プールの方で、昔ふじみ野の方で事故があったように、サービスの低下が運営赤字というところからスタートしてしまう可能性がある。指定管理料の見直しなのか、プールなどと3施設を分けるとか、細やかなサービスができるような施設管理の在り方があるような思いがある。

○ 施設所管課

一括化の場合、メリットデメリットある。一体化した際にスケールメリットがすごく出るのか。あるいは相乗効果が出るのか。一体でやったときに、意外にスケールメリットが出ない、ということも想像している。別々にして、市民からの評価を受けながら競争していただくことも考えられる。

■ 委員

プールは夏季しかやらない、というときに、開いていない時期の対応に悩みも出る。

○ 施設所管課

市民プールとふれあいホールを合体させたことで、プールが足かせとなって手が上がりにくくなってしまった部分もあり、反省がある。

■ 委員

市民プールと一緒にした狙いは。

○ 施設所管課

プールだけより手が上がるかなと思った。結果としてはスケールメリットがあまり出なかった。

■ 委員

利用者や利用時期が限定される仕事という認識になってしまうと、事業者として手を挙げられるのか。東大和市や福生市など、屋外プールを残している自治体もあるが、どんどん減っている。老朽化していく怖さもある。ご苦労されていることは感じている。

○ 施設所管課

老朽化をしているので、どこまでやってくれるか、ということを考える時期には来ている。

○ 施設所管課

収支の事でおっしゃっていただいたが、事業者が決まった暁には、改めて収支計画を作成することとなっているので、回復実態を反映した形で精査をしていきたい。

■ 委員

指定管理料が提案のままでもいい、ということにならないようこれから協議いただきたい。

(5) 採点結果及び意見交換

<採点>

○ 事務局

採点の集計を終えたので、結果を発表する。

シンコースポーツ・アズビル共同事業体 898点 74.8%

指定管理者候補者は、60%を超えているため、シンコースポーツ・アズビル共同事業体となった。

■ 委員長

報告があったように、シンコースポーツ・アズビル共同事業体が日野市市民の森ふれあいホール及び日野市民プール指定管理者候補者とする事となった。

それでは、その内容で報告書をまとめるよう事務局にお願いしたい。

(6) 日野市市民会館・七生公会堂・七生福祉センター・とよだ市民ギャラリーの選定（所管：文化スポーツ課）

○ 施設所管課

施設の概要及び審査の際の重点項目などについて説明。

■ 委員

収支が一括で入っているが、市民会館と七生公会堂の収益割合はどのくらいか。

○ 施設所管課

市民会館と七生公会堂で4:1程度。

■ 委員

市民会館、七生公会堂の今後の活用方針については市から示しているものか。

○ 施設所管課

市から示しており、これに基づきご提案いただいている。

赤レンガプロジェクトなどを挙げている。

■ 委員

募集要項の他に保守点検の内容や管理基準書などがあって、説明会などで皆様にお渡ししているか。

○ 施設所管課

お渡ししている。

■ 委員

市民会館の緞帳落下事故があったが、その前に七生公会堂では舞台機構点検の計画を発表されている。業者さんの日常的なチェックがなかなか難しい設備になると思う。予防措置ができるかは難しいところだと思っている。

■ 委員

市民会館の喫茶室「カフェシェーナ」はどのような関係か。

○ 施設所管課

市から貸しており、賃貸料は取らずに電気料の負担をしていただいている。運営者の社会福祉法人夢ふうせんに行政財産を貸出している形。

■ 委員

指定管理者は関係ないということによろしいか。

○ 施設所管課

関係ない。

(7) プレゼンテーション及び質疑応答 (B社)

◇ B社

提案内容について説明。

■ 委員

これを書くにあたり、各施設には何回ほど行かれたか。

◇ B社

私自身は行っていない。同僚の中に担当している者がおり、説明会の折に現地を見学させていただいた。

■ 委員

活動についてはご覧になったか。今の事業者がどのような活動する内容は熟知されているか。

◇ B社

直接観覧したことなどはないが、市HPなどを拝見し、イベントの状況など把握させていただいた。

■ 委員

お聞きしたのは、何が変わって、何が変わらないのか、ということを知りたかった。この資料を見る限り、アピールするポイントがわからない。

いいことはみんなやっていて、素晴らしいと思う。そこが分からないと、なかなか、と思うところがある。

また、とよだ市民ギャラリーについての記述もない。というのは行っていないのでは、と思った。

◇ B社

七生公会堂については、毎月ごとに6回くらい落語会の活動を提案した。

担当自身、演奏する側でもあり、その立場からも赤レンガプロジェクトの取組はいい取り組みだと思っている。芸術文化の新しい知見、最新のものに触れていただければ、もっと一人ひとりについての文化芸術の生活が潤うのではないかなと思っている。毎週、なにがしかの講座を受けていただくことができる、ということのご提案。

もう一つは若い世代が大事だと思う。大きくなって日野の地域で活躍していただきたいし、世界に羽ばたいても地域で培ったことを生かしてほしい。

■ 委員

地域との連携ということで、一般論で書かれても。

◇ B社

市内の芸術家とお話を伺ってみると、アウトリーチとかがあまりできていない、ということでそこについて書かせていただいた。日野二中、三中や日野高など吹奏楽が盛んなところのOBOGとも通じているので、地域と連携してやっていきたい。

また、提案資料についてはチームを組んで作っているが、現場に行ったものが今回これなくなってしまったということがある。

■ 委員

運営体制のなかで、とよだ市民ギャラリーには何人くらい配置される予定か。

◇ B社

常駐者はいないが、責任者、防火管理者を含めた館長を配置し、主催者に鍵をお渡しし、利用終了時に鍵を受け取るかたち。基本的にスタッフは駐在しないので、スタッフがいなかった場合のマニュアルを作成し、主催者の方と打合せ、共有するかたち午前1回、午後1回、館内を見回る体制を組みたい。必要に応じて会館や公会堂から人を割く、ということも含めて柔軟に対応したい。

■ 委員

午前午後の見回りは緊急時か。

◇ B社

何もなかったことを確認するため、行事があるときには有事でなくても行う。

■ 委員

七生公会堂が地域にとってどういうものであってほしいか。

◇ B社

もう一度七生公会堂に、にぎわいを創出したいと考えている。あまり定期的に通う機会がなかったのであれば、落語を活用することで自然に足を運んでほしいと考えている。

■ 委員

自主事業についてお伺いしたい。自主事業として市が取り組んできた実績として、ウクライナの空手チームのホームタウンにたまたまなご縁から、ウクライナ支援事業をここ数年継続して実施してきている。そういったような日野市の思いを受けて、自主事業を展開いただく、というお考えはあ

るか。

◇ B社

今お話をいただいたので、そうしたことも積極的に連携させていただきたい。大きなコンサートでなくても、アーティストの方が避難されてくるケースも少なからずあると思う。そうしたところこそ公共施設の果たすべき文化的役割だと思う。

弊社の他施設でも行っている。ウクライナから非難されてきた方を受け入れてきた実績もある。

■ 委員

自主事業もかなり盛沢山の形で、経費的に大丈夫かなと思っている。アウトリーチについて、大事な視点だと思う。当然持ち出しになる。アーティストをお呼びするにしてもギャラがあると思う。一方で実入りとしてはアウトリーチ先などから入るお金はあまりない、そうなると持ち出しとなる部分もあると思う。インリーチを考えずにアウトリーチを考えられるような、潤沢な予算がある事業者が考えるようなことなので、事業者として覚悟がいるところだと思う。リスクがあるということを意識させていただきたいと思う。講座の事業のように生涯学習時代にはこういうものが市民の方々から愛されて、ある程度の収入を担保したうえで、予算をアウトリーチに使って、ということ考えた方がミッションとして考えやすいと思う。

すごく大変なんじゃないかなと思う。相当の努力と覚悟が必要。

とよだ市民ギャラリーの記載が最初の地図しかないと思われる。各施設を三位一体として解決いただくご提案を求めるものだと思うので、そうしたご提案を頂けるともっとよかった。本丸は市民会館かと思うが、管理運営のところを丁寧にやられるといいのかなと思った。

◇ B社

講座については収支トントンとは言わないが、他の実績として大きな負担となっていない。

アウトリーチはおっしゃるとおり。ただ、重要性の面。アーティストの方にもそこはご理解いただいたうえで取り組んでいただきたい。PR事業の一環として取り組んでもらう、もしかしたら地域のスポンサーから協賛金を頂けるかもしれない、一緒になって取り組んでいただけるアーティストの方に十分説明させていただきたい。

■ 委員

七生公会堂には七生福祉センターも併設されているが、そこでの活動はどのようにしていくか。

◇ B社

市HPを拝見して、アウトリーチの拠点として考えている。公民館や学校などが拠点として行いがちだが、こんなところでやるのか、という意外性を大事にしていきたい。ホールにお越しになれない方に対して、積極的にアピールしていきたい。

(8) プレゼンテーション及び質疑応答（株式会社ケイミックスパブリックビジネス）

◇ 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

提案内容について説明。

■ 委員

社長も出席されて意気込みを感じる。現状分析のうえ、取組みを検討されている。PDCA が回っているんだと思った。コロナがあったので、一部うまくいかないこともあったかと思う。どういうことがあったか、今後どのように取り組まれるか。

◇ ケイミックスパブリックビジネス

コロナは大変苦しい期間だった。計画したコンテンツが進まない。全国的に同様の状況だった。コロナと対峙した 3 年間の中で、一番大変だったのが、感染防止対策を利用者の方にいろいろとお願いすることが多くあったこと。クラスター発生防止ということで所管課とともに取り組んできた。結果、クラスター発生はゼロで終わることができた。これからもこの経験を生かした運営をしていきたい。

■ 委員

IT で拡散することが大事だと思う。HP も見させてもらったが、動画の活用もあり、非常にいいと思う。HP でやっていくのか、SNS を使うのか、そういったあたりの活用についてもお聞かせいただきたい。

◇ ケイミックスパブリックビジネス

IT については積極的に活用していきたい。動画投稿サイトに掲載し、リンクも HP に載せていきたい。来館された方へのアンケートに留まらず、会館に来たことがない人や知らない人を対象にしたアンケートともしていきたいので、HP でも応えられるようにしたいが、ネットアンケートの媒体を活用してそこからアクセスできるように考えていきたい。全市民が活用できるような取組みを考えていきたい。

■ 委員

双方向性のある SNS についてはどうか。

◇ ケイミックスパブリックビジネス

検討し、必要があれば取り入れていきたい。

■ 委員

絞り緞帳が落下した事故があったが、当日、現場でどのようなご対応をされて、今後どのように活かしていこうとされているか。

◇ ケイミックスパブリックビジネス

今回の事を反省し、早急な対応としては絞り緞帳の撤去を翌日に行った。幕はたくさんあり、第一緞帳、第二緞帳、暗転幕など。その点検をすべて行った。昨日も舞台機構の確認を行った。経年劣化もある中で、第一、第二緞帳のチチ紐は修繕した。所管課と私どもの点検結果を共有し、事故が起きないような対応をしていきたい。

当日の対応としては、昼 12 時 57 分で、当日はバレエの発表があるということでリハーサルをされていたが、幸い誰も舞台上にいなかったのが、事なきを得たが、恐怖心を拭うように落ち着いていただいた。本番に支障があってはいけないので、その日は緊急対応として必ず落ちないように縛り付け

た。2時からの本番はつつがなく行うことができた。

■ 委員

休館日を減らす提案がある。劣化部分を予防することを考えると、休館日を保守点検に充てるとか、研修に充てるとか、施設管理者にとっては大事な日であると思う。繁忙期や閑散期想定しながら、利用者のサービス向上と施設の管理のリスクの両面を考えて休館日を設定された方が良いと思う。提案を実現される場合は、所管課と協議いただきたい。

■ 委員

提案として。単身、ひとり親家庭への支援として、岐阜県可児市で社会包摂として行っている取組で、単身の方のご家族をステージに招待する、というものがある。例えば劇場の中で完売しなかったものがあつたとして、1か月、2か月前に、市の所管課の方と相談して、その分を対象の方に招待をするということであまりお金をかけずにできると思う。受け入れ側を市民会館や七生公会堂でやるなどできるかなと思う。そういう考え方も社会包摂にはあると思う。

■ 委員

市役所の所管課との定期的な会議は何かされているか。どのような情報共有をされているか。

◇ ケイミックスパブリックビジネス

月に1回、所管課と会議をさせていただいている。自主事業の経過報告や利用状況、修繕の計画共有などをさせていただいている。反対に次のイベントに向けたアドバイスなどを頂いている。

■ 委員

本題ではないが、社名の由来はなんですか。

◇ ケイミックスパブリックビジネス

もとは株式会社キョーエーという会社が前身だった。横浜で事業を進めていた兄弟の会社と、バブル崩壊による影響もあり経営統合。キョーエーメックとキョーエーが合併して、K どうしの合併ということでケイミックスとなった。

その後、小泉内閣のもと指定管理者制度ができ、これをビジネスチャンスとして捉え、文化施設にターゲットを絞って指定管理者制度への取り組みをはじめた。こうした経緯のため、もとはケイミックスの一事業部署としての活動だった。

ところが、元々ケイミックスというのはビル管理や公共インフラの維持管理をしていた会社。外から見ると、「掃除屋が文化施設の運営なんかできるわけないだろう」という目があった。そのため分社化して独立、ケイミックスパブリックビジネスとして名称を付け、スタートした。

名前は長いが、名称変更にも大変苦労したため、当面はこの社名のまま続けたいと考えている。

(9) 主管課質疑応答（文化スポーツ課）

■ 各委員

質疑なし

(10) 採点結果及び意見交換

■ 委員

ケイミックスさんは現状をよくわかられていて、絵に描いた餅ではない印象があった。B社の提案にはとよだ市民ギャラリーが落ちすぎているのが残念。

■ 委員

取組の継続が大事ななと思っている。アウトリーチはなかなか事業者としては謳えないところで価値としては大事なもの。

住民利用もある程度高いと思われる七生公会堂の経年劣化をどう慎重に管理していくか、ということとは気になった。

■ 委員

企業公社から専門事業者に変わったときには良かった。

■ 委員

当時は数事業者からの声掛けもあったが、企業公社が1年延長する、という話になり、その1年後に再度募集したら1者になってしまった経緯があった。

事故もあったが、対応が大変よかった。

■ 委員

事故は初期対応が大事。いろんな考え方があって難しい所だが。

<採点>

○ 事務局

採点の集計を終えたので、結果を発表する。

B社 910点 67.4%

株式会社ケイミックスパブリックビジネス 1157点 85.7%

順位点は、

B社 18点

株式会社ケイミックスパブリックビジネス 9点

したがって、指定管理者候補者は、60%を超えており、かつ順位点が最小である株式会社ケイミックスパブリックビジネスとなった。

■ 委員長

報告があったように、指定管理者候補者とするのは株式会社ケイミックスパブリックビジネスとなった。

(11) 日野市立落川交流センターの選定（所管：地域協働課）

○ 施設所管課

施設の概要及び審査の際の重点項目などについて説明。

■ 委員

なぜ一つだけ他の交流センターを分けたのか。

○ 施設所管課

ここだけは、公園が併設されている。公園は現在指定管理ができるような条例になっていないので今はセットではないが、将来的に公園と一体的に管理する事を想定して分けた。

■ 委員

3年間となっているのは、その体制を目指したものか。

○ 施設所管課

まだ条例の目途は立っていないが、そうしたものの。

■ 委員

交流センターの経費の単年度決算額としてどれくらいか。

○ 施設所管課

6館合計となっているのでわかりづらいが、参考となるのは万願寺交流センター、単館で約1,000万円。

■ 委員

今回の応募の方が一者上がっているが、公園の管理までできるような事業者のイメージか。公園と一緒になったときに、公園の指定管理までのイメージをどう捉えているか。

○ 施設所管課

今回の応募事業者は、敷地を使ったプレイパーク、炊き出しなどの運営を担っていただいている。管理、という部分という面では未知数ではあるが、利用者としてはよくわかっている団体。

■ 委員

今回の事業者さんは、指定管理は今までやっていないということでもいいのか。

○ 施設所管課

初めて。

■ 委員

募集の際の仕様書は相手に示されているか。

○ 施設所管課

管理運営基準仕様書についてはお渡ししている。

募集要項もお見せしている。

■ 委員

指定管理料の参考価格については、何を参考にしたらいいかわからなかったが。

○ 施設所管課

今まで6館まとめて指定管理としていたところが4館と1館になった。1館ずつの経費はなかなか出ない。

■ 委員

次回以降、1館ずつの経費をわかりやすくした方が良いと思う。これは要望。

また、貸室が3つあるが、実態としてあっているか。参考でついているものでいくと、仕様書の1ページで平面図及び管理区分ということで図面を入れているが、どの部分の事を言っているか。

調理談話室、26.88㎡というのはどこのことを言っているか。

○ 施設所管課

調理談話室は1階の会議室サロンと書いてあるところ。

■ 委員

交流室洋室は。

○ 施設所管課

2階の集会室大のこと。交流室和室が小。

面積は、千代田区との賃貸借を結んだときの面積。

■ 委員

募集要項に管理するところが書いてあるが、整合性が取れているか、仕様書をご確認いただいた方が良いと思われる。仕様書上では、清掃業務としてどれくらいの規模を清掃すると書いてあるが、次の個数とちょっと合わない。清掃する㎡数が合っているか。

今後仕様書を詰めるにあたって、よく確認いただきたい。シャワー室、トイレや間仕切りが現状と違う。仕様書12ページ、13ページを特に。

■ 委員

図面が古いものを使われているのだと思う。

○ 施設所管課

見直しをさせていただく。

■ 委員

今回、おちかわの里という特定非営利活動法人が出されているが、そのいきさつは。

ただ公募してきて、応募してきたのか、ここで活動しているから、どう？というかたちで応募されたのか。

○ 施設所管課

地域の団体で交流センターの管理を引き受けたいという要望はかなり前からあった。指定管理という制度の中でかみ合わずに来た中で、一館であればということで手を挙げていただいた。

(12) プレゼンテーション及び質疑応答（特定非営利活動法人おちかわの里）

◇ おちかわの里

提案内容について説明。

■ 委員

おちかわの里の会員は、予算から見ると16名かなと思うがよろしいか。

◇ おちかわの里

正会員はおっしゃるとおり。

■ 委員

この規模で指定管理者というのはかなり範囲が広がる。日常の受付などだけじゃない業務。

◇ おちかわの里

常勤も非常勤の人も会員から出す。

■ 委員

なかなか頑張る必要がある。

運営委員会というのがあるが、何をされているものか。どういう関係のものか。

◇ おちかわの里

落川交流センターの運営委員会は、交流センターが開所する前年から準備会として発足し、その後委員会になったもの。交流センターの設置された目的が、住民の交流促進。その中で、周辺自治会や利用者、地域団体に対し、より交流センターが利用されやすくなるためにはどのような運営が良いか、ということで市から声がかかって組織された。

自分たちで交流センターをよりよくするためにどういうルールが有ったらよいか、などを考える委員会。炊き出し食事会を毎月やっている。運営委員会があって、井戸があって、いざとなったら救援物資が来るまで食べ繋ぐことができる、ということで、訓練ついでにおいしいものをみんなで食べられるといいね、ということで始めたもの。

■ 委員

おちかわの里が指定管理者となったら、運営委員会はなくなるのか。

◇ おちかわの里

別団体なので、今までと同様、一般の利用者として行う。

■ 委員

炊き出しの経費などは管理しないのか。

◇ おちかわの里

別団体なので、特に管理しない。

■ 委員

指定管理者として落川交流センターの施設をまとめて管理していかなければいけない中で、そこでの運営企画による収入支出を管理組合がかってにやる、という形でよいのか。

◇ おちかわの里

お金は発生しているが、そこで使う費用を運営委員会が直接管理している。
指定管理者として管理することはない。

■ 委員

倉庫があって、倉庫にもものが入っている。あそこの倉庫の管理は誰がやるのか。

◇ おちかわの里

文化スポーツ課と運営委員会が半分ずつ。
倉庫の中については管理しない。より良い管理の方法を目指して所管課と協議していきたい。

■ 委員

おちかわの里で、常勤職員を雇用されたことはあるか。

◇ おちかわの里

ない。

■ 委員

報酬の規定が定款にある。2名までは理事長、理事代行の方が受けることはできるかと思うが、そうした解釈でよいのか。

◇ おちかわの里

報酬として出せるのは2名だが、雇用であり報酬ではないため、理事の規定が抵触するという事ではない。

■ 委員

事務所を構えてらっしゃるのは個人のお住まいか。
そこで経理や事業計画を立てられるとか、運営業務などをされるのか。

◇ おちかわの里

法人としては、そうなる。

■ 委員

自主事業自体はおちかわの里さんでされるのか。

◇ おちかわの里

はい。

■ 委員

理事はいないのか。

◇ おちかわの里

7名。登記は理事長のみ。東京都への届出はしている。

■ 委員

いろんな活動を一生懸命されているが、落川にお住いの方にどのように発信していくか。気心を良く知った方に伝えるだけでなく、一般的な市民にも伝わるような広報は。

◇ おちかわの里

周辺自治会に広報を回覧板で回らせていただいている。落川、もぐさ、三沢、新井の方には、自治会に入っている方に限られるが広報はされている。今は自治会にはいられない方も多いのと、回覧板を見ない方も多。今後についてはSNSを活用して広報していきたい。

■ 委員

事故が起こった時、ここに文書で書いてある部分についてはその通りだと思うが、フロー図が軽傷でない場合、落川交流センターの事務所というのが入っているが、これはどういう意味で入っているか。

◇ おちかわの里

事故を発見した人が連絡するフロー。事務所から関係各所に同時に連絡をする必要があり、そちらに連絡をするようになっている。

■ 委員

イメージは公園部分の事故か。

◇ おちかわの里

そのようにイメージしている。過去の活動履歴から、骨折したり、やけどしたり、という事故があった。建物の中の事故はあまりない。

■ 委員

そうしたときに、市への連絡はどのようにされているか。公園内で起きた事故についての連絡は公園の施設管理者に連絡する必要があると思われる。

◇ おちかわの里

今まで公園になっていなかったなので、起こった事故というのが5、6年以上前なので、特に市への連絡はしていなかった。大体お子さんだったので、保護者の方などに連絡をするなどしていた。

■ 委員

落川交流センターと公園で設置条例が違い、所管課も違う。複雑だが、連絡体制はしっかりしていただきたい。

■ 委員

公園で起きた事故のお話だった。今回は施設の指定管理者としてとなるが、保険のリスクというのは、施設の方は施設賠償保険を入れていて、公園の方は自主事業展開となっていくので、リスク分担が変わってくるというところについてご留意いただきたい。

(13) 主管課質疑応答（地域協働課）

■ 委員

指定管理者制度が良くわかっていない印象もあったが。

運営委員会の下請けになってしまうようなところがあってはいけない。主管課の方からもよく管理いただきたい。

○ 施設所管課

利用者として長く利用していただいているが、その延長線上のものではない、という話は何度かしている。初めての団体であり、心配する思いは共有しているところ。

また、公の施設の管理者は、自分の施設ではない、ということは指摘している。

初めてのNPOなので、良く指導していきたい。

■ 委員

かなりフォローをしていってあげないといけないと思う。今後管理をしていく中で、報告書など、ある程度協力していくなかで、履行報告をしっかりと面倒見てもらいたい。

ボランティア精神の中でやっている中で、損してもいいやという中で成り立ってしまうと、施設の管理が難しくなっていくと思うので、フォローをしっかりとしていきたい。

○ 施設所管課

万願寺交流センターも、NPOが管理しているが、しっかり管理業務をこなしているので、同じようにフォローしていきたい。

■ 委員

しっかりとサポートを頂きたい。

■ 委員

地域に関連している団体が手を挙げていただいて、それに手を差し伸べる形を整えた部分も見えるが、リスクはあるが、地域連携のひとつ、長い目で見て良さを引き出していただきたい。すべて寄り添うのではなく、お任せできる部分はお任せしてほしい。

○ 施設所管課

地域の拠点として。リスクもあるので、そこはしっかりと見ていきたい。

■ 委員

同種の施設の管理運営は実績がない、ということか。

○ 施設所管課

ない。

■ 委員

地元の管理運営として、こういう在り方も大事。ひとつのあるべき姿でもあると思う。

(14) 意見交換

■ 委員

運営委員会が優先的にとってしまうことを危惧していたが、回答されていたので大丈夫だとは思った。気にはなっていたが。

■ 委員

指定管理の対象が建屋であり、庭が対象外であるところをご理解されているのか不安。

■ 委員

主管課も含め、理解されていないのでは。倉庫の方は、公園管理者になっていなければいけない。公園管理施設など、将来的には形が変わってくるかもしれないが、今の施設を上手に運用しながら、主管課がサポートしながら、うまくやっていただきたいなと思った。
気を付けないとボランティアの延長でやってしまうのかな、と思う。

■ 委員

HPなどで、地域だけでなく広報してもらいたいところだが。

■ 委員

人件費の大部分がアルバイトで持っていかれてしまう。

■ 委員

ある程度責任分界点を示しつつ。サポートしていくと思う。

(15) 採点結果及び意見交換

<採点>

○ 事務局

採点の集計を終えたので、結果を発表する。

特定非営利活動法人 おちかわの里 635点 60.5%

指定管理者候補者は、60%を超えているため、特定非営利活動法人 おちかわの里となった。

■ 委員長

報告があったように、指定管理者候補者とするのは特定非営利活動法人 おちかわの里となった。

■ 委員

初めての団体。いろんな部署と連携をとって、報・連・相を大事にして管理業務に当たっていただきたい。

(16) 次回の説明

○ 事務局

次回 8 月 22 日火曜日の 16 時から福祉支援センター 2 階の第一会議室にて報告書のご確認を頂きたいと思う。できれば、事前にお送りしたいと考えている。予めご意見等あれば、メールでいただければと思う。

■ 委員

議事録はお送りいただけるのであればどちらでも、ペーパーレスで良いかと思う。

■ 委員長

では、本日の案件はすべて終了しました。ありがとうございました。

(閉会)